

ばあちゃんはプロ

弘道小学校五年 中山 花瞳

ばあちゃんは海女さんだ

海でしか見られないばあちゃんがいる

ばあちゃんはあわびのでっかいやつを五つも

六つもとってくる

サザエやタコもふくろにいっぱいにとって重ろ

うに持ってくる

ばあちゃんは海女さんのプロだ

ばあちゃんは本当にすごい

ばあちゃんが海にもぐると

いっしょの間に海の底

ばあちゃんはねらったものはにがさない

目がギンギンして、真剣な顔だ

ばあちゃんが海女をしている時は私が

「何かとれた」

と聞いても返事をしてくれない

それほど集中しているんだ

ばあちゃんはかっこよくて、すごくきれいだ

海でしか見られないばあちゃんの姿だ



第17回「海の香りのする詩」市内小学生の部で大賞に選ばれた中山さんの作品です。
ばあちゃんの目は、海にいる時と、家にいる時と違うのです。作者にとって、ばあちゃんは誇りです。
(選考委員長：渡辺正世氏評)
背景のイラストも中山さんに描いていただきました。(関連記事を12ページに掲載しています)

海から上がったばあちゃんがすごくすごくう

れしそうに言う

「今日はッちそうやね」

ばあちゃんがこの言葉を言うとき大漁ってこと

だ

やっぱりばあちゃんはすごい

ばあちゃんの目はキラキラ輝いていて、にこ

にこ顔だ

ばあちゃんがうれしいと私もなんだかすごく

うれしい

その後、海であったことを聞く

「今日はクラゲがあんまりおらんでよかった

わ」

たまにサメに会うこともあるらしい

「今日はサメに会ってびくりましたわ」

話をするばあちゃんの目はとってもとっても

やさしい

海では見られないばあちゃんの姿だ

ばあちゃんはプロの海女さんだ